

「俳句」が伝える 景観



優秀な作品を集めた入選句集が毎年発行されています。

十王堂境内に、「爰も三河むらさき麦のかきつはた」と詠まれた松尾芭蕉の句碑があることから、藤川では、むらさき麦が色づく五月に「藤川宿を詠む」俳句を募集しています。この活動は、平成八年から始まり今も続けられています。

棒鼻の広重の空雲雀鳴く

岡崎・魚 吉見ふじ江

大蟻の大腿に這ふ往還図

豊田・小坂 岡田理江

紫の麦を封書に旅便り

岡崎・羽根西 水野幸子

宿場にもスーパー一っ夏つばめ

岡崎・藤川 西山幹子

そよそよとむらさき麦がうたってる

岡崎・藤川小 今泉亜樹穂

第十四回 「藤川宿を詠む」入選句集より 主催：藤川まちづくり協議会

藤川学区社会教育委員会



十王堂境内の芭蕉句碑

芭蕉句碑は新・旧の二碑があり、写真左の大きい句碑に対して、写真右の小さな句碑はより古いものと考えられています。

景観まちづくりガイドブック 01 藤川地区

編集・発行：岡崎市都市整備部都市計画課
愛知県岡崎市十王町二丁目9番地
TEL 0564-23-6261
FAX 0564-23-6514
E-mail toshikei@city.okazaki.aichi.jp

取材・編集協力：藤川まちづくり協議会
編集協力：株式会社プレック研究所
特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた



歴史についてもっと詳しく知りたい人は「藤川宿 散策のしおり」を読もう！

平成22年度版
平成23年3月発行

再生紙を使用しています

詠んでみよう！

身の回りの景観から俳句を詠んでみよう。写真を撮るように季節感や日常を俳句で表現できるかな？